

遮え切り押し返えす。

**不相応** 適当でない。

**不正直** 「意地悪る」と同じ要領の手まね。

**不思議** 五指の指頭を上にしし掌を左側にした右手の人差指を口唇に十字につけると同時にその人差指をそのままにして他の四指を折り疊む。その時両頬をふくらませ、首をかしげる。

**不足** 「足らぬ」と同じ手まね。

**普通** 掌を前向けて指頭を前方稍々上にさせた人差指と指頭を前方稍々下にさせた親指（つまり両指間がひろく開かれて）の両手をびったり左右につけてから、両手を左右水平に離して行く。両手の人差指の線と親指の線が平行線をなす。「平均」「平行」「平等」の意味ともなる。

**普通人** 聲啞者に対する普通人のことで、

耳が聞え物言うことを表わす。即ち、指頭を上にした右手人差指を右から耳もとへ往復させ、これも指頭を上にした左手人差指を前方から口もとへ往復させる。この両手の運動は同時に行う。

**仏教** 仏一拜む一教え。

**ぶどう** 掌を下に向け五指の指頭を右にさせた左手をぶどう棚として、その下に、掌を上向け五指をまるく彎曲させた右手をくるくる廻わしながら、下に降して行く。ぶどうの房を表わした身振。

**ふと** 「急に」と同じ手まね。

**布団** 自分の左右何づれかの肩の上に布団を持って被せせる身振。

**不似合** 似合う——ない。似適しない。

**舟** 五指の指頭を前方にさし掌を上に向け、両手を左右につけ合わせ掌をまるくして舟の形をつくる。

吹雷 雪一風。

不滿 掌を内側にした手の上にさした人差指の指頭を口につけ頬をふくらませて小首を傾しげる。「納得いかない」こと。

不明誓 「恥かしい」と同じ手まね。

冬 「秋」の身振りを強調して表わす。即ち拳を強く握りしめ肘を腹脇につけた腕と全身の身ぶるいを強く。

不用 必要——ない。

舞踊 (イ)両手を腰にあて、上体をリズムカ  
ルに左右に動かし踊る身振。(ロ)両手を交互に  
上げ下げして踊る身振。

無頼漢 掌を上向けて握り拳にした手の手  
首のところを鼻の下につけ突き上げるように  
して両手で尻をまくる真似をして男性を表わ  
す。

不利益 「損」と同じ手まね。(ロ)儲け——  
ない。

不良 悪るさ——墮落。

風呂 (イ)「湯」「温泉」と同じ手まね。(ロ)  
タオルを握った拳の形で、頬をこすり洗う身  
振。

不和 「仲違い」と同じ手まね。

憤慨 「憤る」と同じ手まね。

文化(文明) 智識——一般(掌を下に向  
けた右手を左胸脇から前方へ弧を描いて右  
へ)智識が一般に行きわたること。

文学 掌を上向けた両手を十字に重ね互の  
指の交叉したので原稿用紙を形どり、右手で  
文字を書く身振。

紛失 五指の指頭を集め合わせ下に向けた  
右手を右腰につけ、その手を下へ落すと同時  
に五指を開く。腰につけていたものを落す身  
振。

分数 掌を下に向け指頭を右にさした左手  
の人差指を分数の「一」線としてその下に右